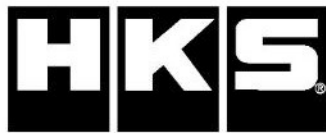


コールドエアインテーク ボックスキット

取扱説明書



取付けは必ず専門業者に依頼してください。
取扱説明書を先に読んでから作業を行ってください。
本書はご使用前に必ずお読みください。
本書は、お読みになった後も本製品の側に置いて活用してください。

本製品は、下記に示す車両のみ取付け可能です。

万が一お車と本製品の型式等が異なる場合には、速やかにお買い上げの販売店にご連絡ください。

商品名	コールドエアインテークボックスキット ステージ 2
用途	自動車専用部品
コード No.	70026-AH010
取付説明書品番	E04500-H91040-00
メーカー車種	ホンダ S660 (DBA-JW5)
エンジン形式	S07A
年式	2015 年 04 月～2022 年 03 月
備考	・本品は、レーシングサクシヨンステージ 2(70020-AH112)と併用してご使用ください。 ・参考取付時間:2 時間

改訂の記録

改訂 NO.	日付	記載変更内容
3-3.01	2025/4	初版

目次

はじめに/本書・製品について	1
安全上の注意	2
パーツリスト	3
部品図/キット装着図	4
1. ノーマルパーツの取外し	5
2. キットパーツの取付け	6
3. ノーマルパーツの取付けおよび始動確認	9
維持・管理	10
異常・故障等の対応	11
アフターサービスについて	11
譲渡等の際の注意	11

はじめに

この度は、HKSコールドエアインテークボックスキットをお買い上げいただき誠にありがとうございます。
製品を安全にご使用いただき、機能を十分に発揮させるために本書をお読みください。取付け終了後は本書に記載されている内容を守り、安全に使用してください。
取付けは必ず専門業者に依頼し、本書は取付けを行う前に必ず読み、よく理解した上で作業を行ってください。
ノーマルパーツの取り付け、取外しはメーカー発行の整備要領書と本書を併用して作業を行ってください。
整備書がお手元に無い場合は、新たに購入してください。

本書・製品について

- 本書は本製品を安全に取付けていただき、お客様や第三者への危険や損害を未然に防止するために守っていただきたい注意事項を示しています。
- 本製品は自動車専用部品です。用途外の使用は行わないでください。
- お客様又は第三者が、本製品及び付属品を加工、誤使用したことにより受けた損害について当社は一切責任を負いかねます。
- 本製品はノーマル車両及びHKS製品を装着している車両への取付けを基準に製作されています。
上記車両以外に取付けた場合は、本製品の機能・性能及び安全性について保証いたしかねます。
- 本書は、予告なく改版することがありますので本製品と本書の整合をご確認ください。
- 本製品は付属品を含め、改良のため予告なく変更することがあります。

安全上の注意

本書では、下記のような記号を使用し、お客様への危険レベルを示しています。



警告

作業員又は使用者が、死亡又は重傷を負う恐れがある場合



注意

作業員又は使用者が、傷害を負う危険が想定される場合(人損)

拡大物損の発生が想定される場合(拡大物損とは、当該製造物が原因で誘発された物的損害(例えば車の破損及び焼損))

本製品を正しくお取扱いいただくために下記の注意事項を必ず厳守してください。



警告

- 爆発及び火災防止のために、次のことを守ってください。
 - ・換気のよい場所で作業してください。
 - ・可燃物を取扱う際は、火気に充分注意してください。
- 電気ショートによる電装部品の破損及び焼損・火災を防止するために、次のことを守ってください。
 - ・作業を行う前に、バッテリーのマイナス端子からケーブルターミナルを取り外してください。
 - ・コネクタを取外す時は、断線しないようにコネクタを持って取外してください。
- 車両をジャッキアップする場合には輪止めをかけ、ジャッキは必ず所定の位置に当ててください。又、そのまま作業せずリジッドラックで支えてから作業を行ってください。
 - ・所定外の位置でのジャッキアップはバランスが悪いばかりでなく、車両を傷つける恐れがあります。
 - ・リジッドラックを確実にかけないと車両が落下してケガをしたり、最悪の場合死亡する恐れがあります。



注意

- 本製品の誤使用は、絶対に行わないでください。
 - ・誤使用したことにより異物がキット内に入り、最悪の場合エンジンが壊れる恐れがあります。
 - ・本来の性能を損なう恐れがあります。
- 作業を始める前に、エンジンルーム内の各部分の温度が約40℃位(手で触れて熱くない程度)に下がっていることを確認してください。
 - ・火傷をする恐れがあります。
- ホース・パイピング等に異物が入らないようにウエス等をかけておいてください。
 - ・異物がエンジン内部に入りエンジンが破損する恐れがあります。

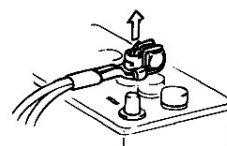
取付けを行う前に

- キットの構成部品をパーツリストに記載してあります。取付け前に、異品・欠品のないことを確認してください。
- ノーマルパーツの取付け・取外しの作業は、メーカー発行の整備要領書をよく読んでから行ってください。
整備要領書がお手元にない場合は、メーカーにてご購入ください。
- 本製品の取扱いは慎重に行ってください。落下等、強いショックを与えないでください。取付け不良や故障の原因になります。
- ボルト・ナット類は適切な工具で確実に締付けてください。必要以上に締付けを行うと、ボルト類のねじ部が破損します。
- パイプとホースの連結部分にはオイルが付着しないように注意してください。オイルが付着した場合は、ウエスで拭き取ってください。過給圧が上がったときにパイプが抜ける恐れがあります。
- 取付け作業のため一時的に取外すノーマルパーツは破損又は紛失しないように保管してください。
又、ノーマルパーツを取付ける際間違えて取付けないように、取外すノーマルパーツにはマーキングをしてください。
- オイルを補充する際には、その車両に応じたオイルを使用してください。



警告

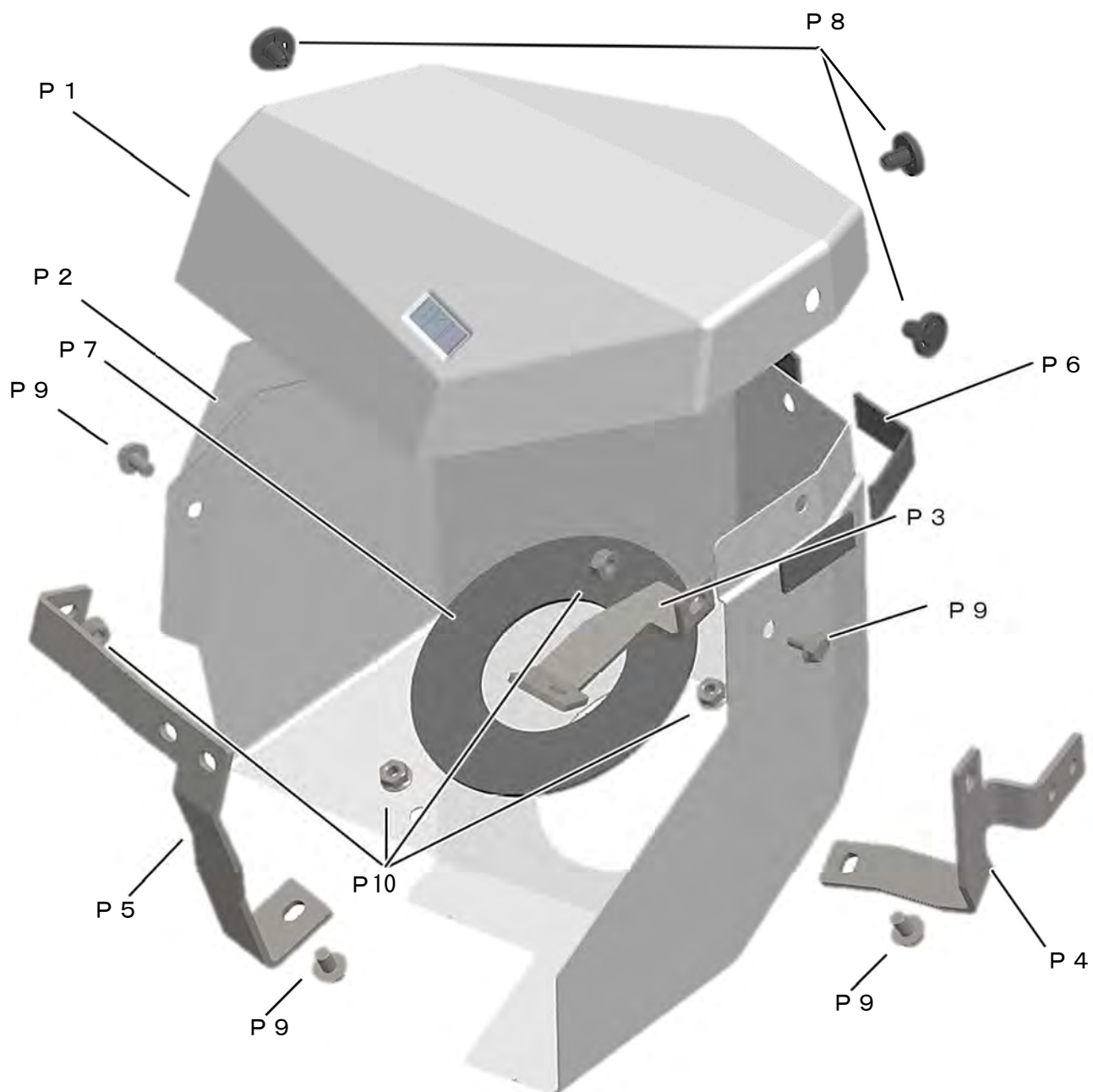
作業を行う前に、バッテリーのマイナス端子からケーブルターミナルを取り外してください。
感電、又はショートによる車両破損が起きる恐れがあります。



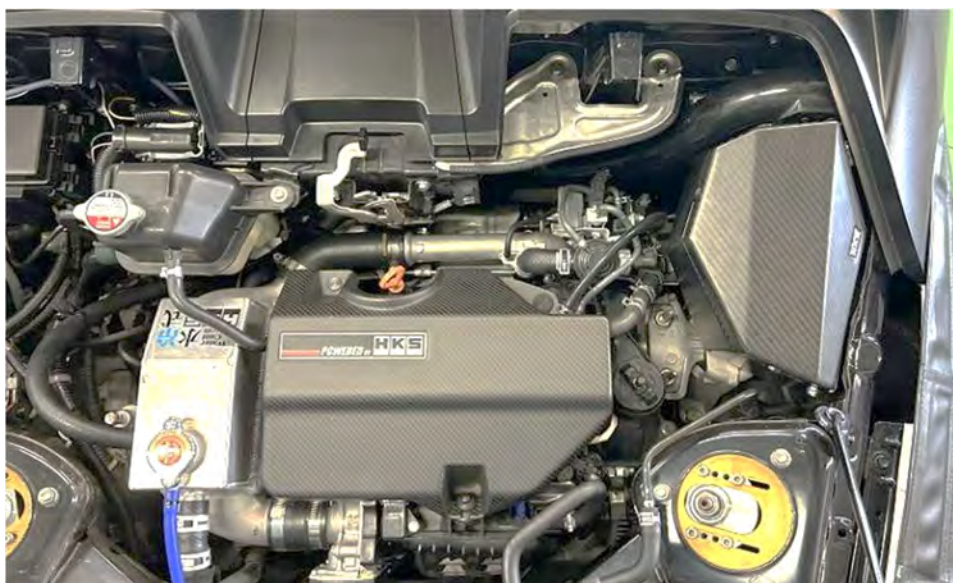
パーツリスト

連番	品 名	数量	備 考
P1	アッパーボックス	1	
P2	ロアボックス	1	
P3	ブラケットNo.1	1	
P4	ブラケットNo.2	1	
P5	ブラケットNo.3	1	
P6	クッションテープ	2	
P7	エアクリーナグロメット	1	
P8	クリップ	3	
P9	フランジボルトM6 L10	4	
P10	フランジナットM6	4	
P11	取扱説明書	1	本書

部品図



キット装着図



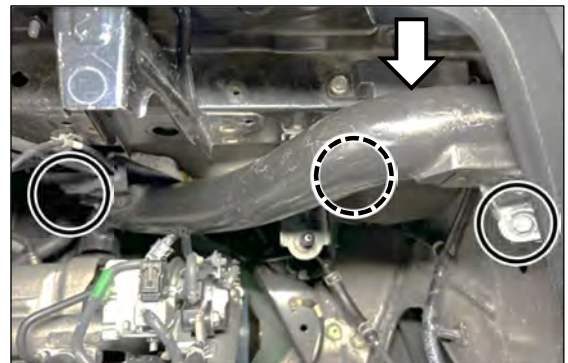
1. ノーマルパーツの取外し

●バッテリーのマイナス端子からケーブルターミナルを取り外します。

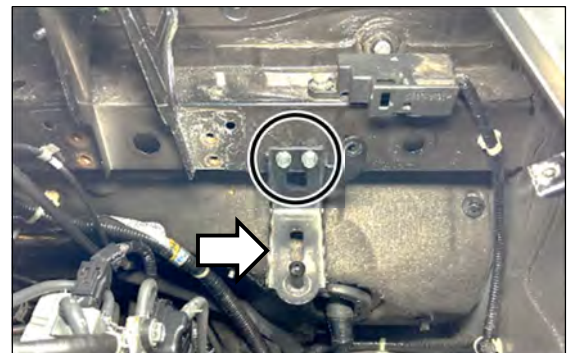
●ボルト3本を取り外し、ロールバーガーニツシュ
ヒートシールドを取り外します。



●ボルト2本、クリップ1本を取り外し、エキゾーストクーリングダクトを取り外します。



●ボルト2本を取り外し、エアクリーナーケースブラケットを取り外します。



2. キットパーツの取付け

- パワーフローを取り外します。
- 純正ボルト2本を再使用し、車両にブラケットNo.2を取り付けます。

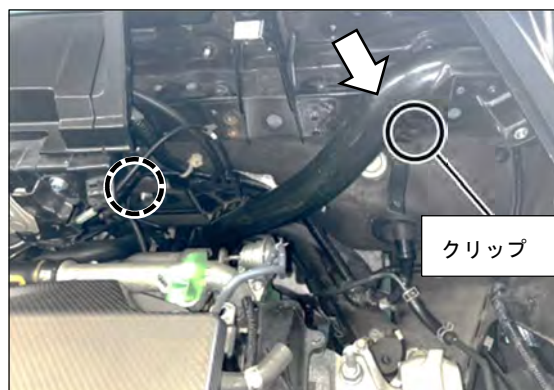
P4 ブラケットNo.2



締付けトルク N・m(kgf・m)
T=9.5(0.97)



- 純正ナットを再使用し車両とブラケットNo.2にエキゾーストクーリングダクトを取り付けます。



- ロアボックスにクッションテープを貼り付けます。クッションテープは、適当な長さに切断します。クッションテープは片面全周、穴を避けて貼り付けます。貼付け前に貼付け箇所の脱脂を行います。

P2 ロアボックス

P6 クッションテープ ×2



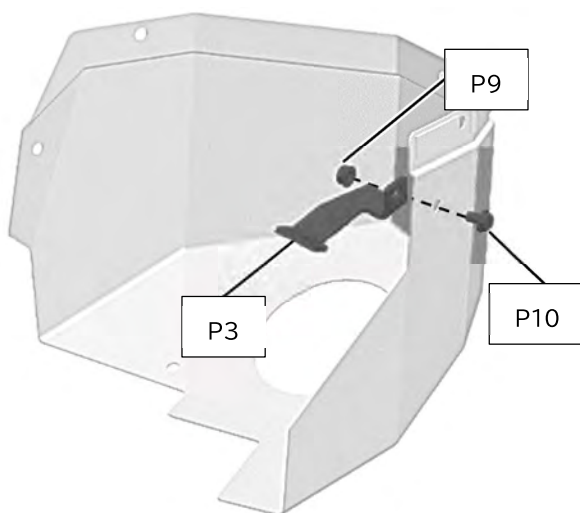
●ロアボックスにブラケットNo.1を仮付けします。

P3 ブラケットNo.1



P9 フランジボルト M6 L10

P10 フランジナット M6



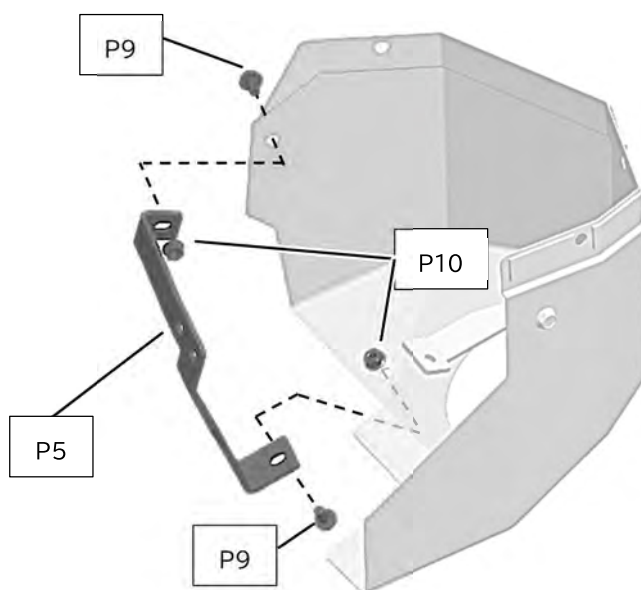
●ロアボックスにブラケットNo.3を仮付けします。

P5 ブラケットNo.3

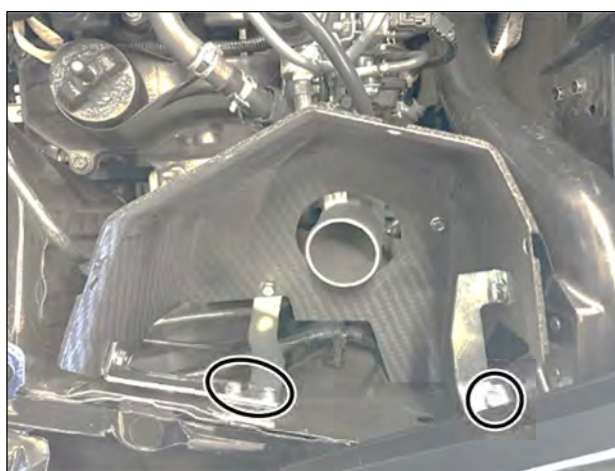


P9 フランジボルト M6 L10 ×2

P10 フランジナット M6 ×2



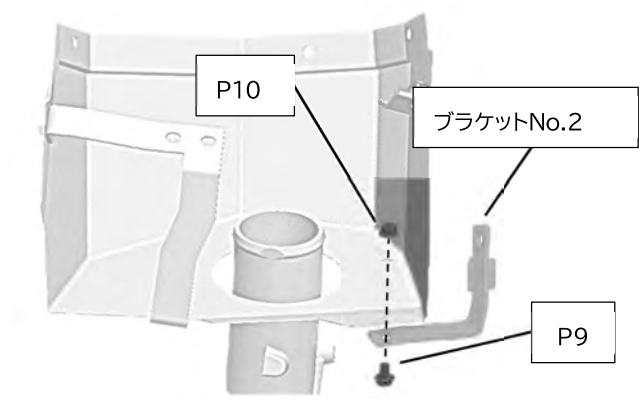
●純正ボルト3本を再使用し、車両にロアボックスを仮付けします。



- ロアボックスをブラケットNo.2に仮付けします。

P9 フランジボルト M6 L10

P10 フランジナット M6



- ロアボックスがボディ及びサクションパイプと干渉しないように位置を調整します。調整後、干渉が無いことを確認します。

- 次にロアボックスにアッパーボックスを仮付けし、アッパーボックスがボディに干渉がないことを確認します。干渉する場合は、ロアボックスの位置を再調整します。位置の調整が終了したらロアボックスにブラケットNo.1、ブラケットNo.2、ブラケットNo.3を固定します。

締付けトルク N・m(kgf・m)

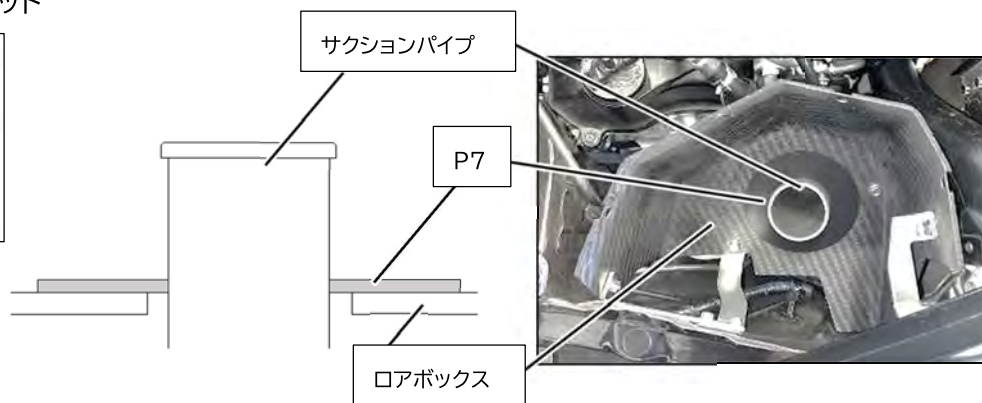
P9,P10 M6:T = 2.0~3.0 (0.2~0.3)

純正ボルト M6:T=9.5(0.97)



- サクションパイプにエアクリーナグロメットを取り付けます。

P7 エアクリーナグロメット



アドバイス

サクションパイプとロアボックスの穴のすき間を塞ぐために取り付けます。
ロアボックス側には固定をしません。

- パワーフローをサクションパイプに仮付けします。パワーフロー本体とロアボックス、アッパーボックスの隙間が 10mm 以上になるよう位置を調整します。位置が決まったら、ホースバンドを固定します。この時ホースバンドを締めすぎないようにします。

締付けトルク N・m(kgf・m)

ホースバンド:T = 2.0~3.0 (0.2~0.3)

- ロアボックスにアッパーボックスをクリップで固定します。

P8 クリップ ×3



3. ノーマルパーツの取付けおよび始動確認

- ノーマルパーツの取付け前に、下記の事項を確認します。

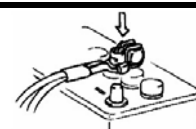
確認項目	確認
パイプ・ホース等の配管が間違っていないか	
ホースバンドが確実に締まっているか	
ボルト・ナット類の締め忘れはないか	
取付けた部品が他の部品と干渉していないか	

- バッテリーのマイナス端子にケーブルターミナルを取り付けます。



警告

ケーブルターミナルを取り付ける際は、ショートさせないでください。
ショートにより感電、又は車両が破損する恐れがあります。



●エンジンを始動して、下記の事項を確認します。

確認項目	確認
各部からエア漏れがないか。	
軽く 2、3 度空吹かしを行いスムーズにエンジン回転が上がるか	
部品による干渉音はないか	
アイドリングによる異常はないか	
エンジンを停止し、ボルトが緩んでいないか (再度取付部の締付け確認)	

●ロールバーガーニッシュヒートシールドを取り付けます。



以上で作業は終了です。

維持・管理

快適に運転していただくために、お車を運転する前には必ず日常点検を行ってください。

- 安全な整備はドライバーの責任です。必ず実施してください。
- ユーザーマニュアルに記載されている事項以外は専門業者に依頼してください。
- 商品保護のためクリア塗装は施しておりますが、長時間の直射日光下での保管は本製品の劣化が早まる恐れがあります。できるかぎり直射日光が当たらないようにしてください。
- 定期的にボルト・ナット類に緩みやガタがないかを確認してください。
- 事故・接触等で本製品が破損・変形した場合、ただちに修理するか取り外してください。
- 洗車時などは車両右側のロールバーガーニッシュ A から大量の水を長時間かけないようにしてください。



異常・故障等の対応

- 故障等の修理はお客様ご自身では絶対に対処せず、必ず専門業者に依頼してください。
- 走行中、異音・異臭・振動等の異変があった場合には、お車の購入時についてくる車両の取扱説明書に従って対処してください。

アフターサービスについて

- 本製品に関するお問い合わせは、専門業者またはお買上の販売店までお問い合わせください。
- 本書の記載内容は、予告無しに変更することがありますのであらかじめご了承ください。

譲渡等の際の注意

- 本製品を譲られるときは、必ず次のオーナーのために取扱説明書を一緒にお渡しください。
- 本製品を車両より取外す際には、必ず専門業者に依頼してください。



株式会社 エッチ・ケー・エス
〒418-0192 静岡県富士宮市北山 7181
<https://www.hks-power.co.jp/>